学校番号	３０７

令和８年度　音楽科

教科	音楽	科目	音楽理論	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新装版　楽典						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

楽譜の基礎的な知識から、音階、形式、和音、和声学など音楽的な様々な知識を学習して、実際の楽器演奏や合奏おいて、豊かな芸術的な表現につなげられるような学習をします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
知識・技能では、楽典の内容や吹奏楽のアンサンブル曲の編曲を及び演奏を行い、目標達成に努める。
【思考力、判断力、表現力等】
思考・判断・表現では、基礎的な和声学を学び管楽器の独奏曲の作曲やアンサンブル曲の編曲を行い豊かな表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に学習に取り組む力を養うために音楽理論について学び、吹奏楽の豊かな表現につながることを目標としている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするため、楽典において、楽譜の基礎的な知識を身につける。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、器楽、創作の音楽表現を工夫し、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持って取り組む。	音楽（楽譜）基礎的知識に関心をもち、器楽楽曲分析や作曲、編曲に主体的に取り組もうする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	音楽理論基礎	【楽譜の基礎知識】 全音音階 半音音階 全ての長調、短調の音階 音程 形式 和音(コード) 移調楽器	a:楽譜の基礎知識を演奏の必要性を考えながらに主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形作っている要素を理解して、それらの働ききが c:表現したいことを伝えるために必要な音楽理論として学び、演奏技能を身につけている。	ペーパーテスト	プリント	観　察
	音楽理論発展	【楽曲分析に使う基本知識】 コード進行 四声体 (バス課題・ソプラノ課題)	a：音楽理論の発展として、実際の楽曲を分析行い主体的に取り組む b:音楽理論の発展の知識を形式理解、構成要素理解にいかしていく。 c:楽曲分析の基礎的知識を活用して、豊かな表現をめざす。	ペーパーテスト	プリント	観　察
2	音楽理論応用	吹奏楽の独奏曲を作曲(自分が演奏するための)	a:和声が知識をいかす。 b:和声進行、コードを表現につなげる。 c:自分の演奏で自分の曲を主体的に演奏できる。	作品	プリント	観　察
3	音楽理論応用	【吹奏楽編曲使う基礎知識】 管弦楽法 和声学 平易な歌唱曲を吹奏楽アンサンブルに編曲する。	a:　管弦楽法や和声楽を吹奏楽の編曲に役立てられるように、主体的学べる。 b:吹奏楽編曲に際して、形式的や構成要素についての知識を活用する。 c:和声学や管弦楽法の知識を有効に使い、吹奏楽編曲では豊かな音楽表現をめざす	作品	プリント	観　察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度